

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画に対して日々モニタリングを行ない、定期的なカンファレンスで対応の見直しを行っているが、日々の記録も含めてきめ細かく行ないすぎているので、効率的な在り方を検討する。	介護計画に沿った効率的な記録が出来る。	・時系列の記録から、より介護計画に沿った日々の記録に移行する。 ・定期的なモニタリングやカンファレンスの記録を職員間で分担する。	12ヶ月
2	43	一人ひとりに合わせたタイミングでトイレに誘い、なるべく安心して排泄できるよう見守っているが、認知症の進行と共に排泄自立者が減少してきている。	排泄自立者を増やす。	・認知症の障害が排泄に与える影響について再確認する。 ・個々の排泄パターンや習慣を再分析し、トイレ誘導のタイミングを変えたりなど、様子の変化にきめ細やかに対応する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。